

一人ひとりの挑戦を、会社が支える。

～資格取得支援(GUC)制度に込めた思い～

仕事に向き合う中で「もっと学びたい」「新しい知識を身につけたい」と感じることは、自身の成長だけでなく、サービスの質の向上にもつながります。

今回は、社員一人ひとりの学びや挑戦を後押しする「従業員資格取得奨励制度」について、本社教育課の水野課長と平野係長にお話を伺いました。



この制度は、社員自身が「業務に活かせる」と考えた資格であれば幅広く申請できる点が特徴です。介護に関する資格はもちろん、TOEICなどの語学系資格も対象となり、上長承認を経て、資格取得後に費用補助を受けることができます。補助額は年間1回、上限3万円です。

平野係長は、「さまざまな職種が働く会社だからこそ、自分で選び、自分で挑戦できることを大切にしたい」と話します。また、「大人になってから学ぶことは簡単ではありません。だからこそ、まず『勉強したい』と思った気持ちを大切にしたい」と制度への思いを語ってくださいました。

水野課長からも、「仕事をするうえで、自分の成長を実感できることはとても重要です。迷うくらいなら、ぜひ挑戦してほしい」と力強いメッセージをいただきました。

制度利用者として、名古屋支店・春日井事業所の水谷さんにもお話を伺いました。水谷さんはGUC制度を活用し、「メンタル心理カウンセラー」と「JADP認定シニアピアカウンセラー」の資格を取得。学びを通じて、「相手のことをより深く知ろうとする気持ちが強くなった」と話します。



学びは、自分の仕事への向き合い方を見つめ直すきっかけになります。従業員資格取得奨励制度は、皆さんの「学びたい」という気持ちと、一人ひとりの挑戦を応援する制度です。

※なお、本記事では一部を抜粋してご紹介しています。インタビュー全文は、今後発行予定の社内報特別号にて掲載予定です。



～研修を終えた外国人材と、迎える事業所の声～

3月号では、来日間もない外国人材の皆さんに、日本で働くことへの思いを、5月号では、その成長を支える講師の方々に、教育への思いや関わり方を。そして今回の7月号では、いよいよ実際に事業所へ配属された外国人材と、迎える所長に取材します。“新しい仲間”が現場で一歩を踏み出す様子をお届けします。

エイ ミヤットウーさん(19歳)

5月より、埼玉支店・与野事業所に配属されました。趣味は歌を歌うことと、アニメを見ることです。

Q.事業所に配属されて、最初に感じたことは？

事業所の皆さんがとてもやさしいと感じました。特に沖所長には、出会ってすぐに「一緒に働きたい！」と思いました。職員の皆さんとお話するのもとても楽しいです。



Q.これからどんな職員になりたいですか？

相手が私のことを分からないと、不安に感じることもあると思います。だから、少しでも自分のことを分かってもらえるようにしたいです。

これからも、皆さんと楽しく関わりながら働ける職員になりたいです。

沖 愛恵さん(34歳)

埼玉支店与野事業所で所長をしています。入社5年です。

Q.実際に一緒に働いてみて感じたことは？

常滑での研修は1週間という短い期間だったにもかかわらず、実践レベルまで到達していて驚きました。本人の「働きたい」という気持ちがすごく伝わってきます。ご利用者様からの印象も良く、受け入れ前に感じていた不安は一気になくなりました。

Q.今後どのように成長を支えていきたいですか？

一番大切にしたいのは、エイさんの良いところである笑顔と、楽しんで仕事に向き合っている姿を守ることです。事業所のみんなで支えていきたいですし、それとは別に、自分自身も勉強を続けていきたいと思っています。



お二人とも、貴重なお話をありがとうございました！